

主題：聖書の心臓部——ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ

メッセージ7

エペソ人への手紙 (3)

キリストのからだの実際のために神の召しにふさわしい歩みを持つ

聖書：エペソ 4:1-4, 15-16, 20-24, 31-32. 5:2, 8-9, 18

I. 神の今日の回復における彼の願いはわたしたちがキリストのからだの実際のために彼の召しにふさわしい歩みを持つことです——エペソ4:1-4：

- A. 勝利者は神によって召されて、キリストをあらゆるものとして享受し、彼を極みまで愛することによって、神ご自身を表現し彼の敵を打ち破り、実際としてのキリストのからだを建造して、神の定められた御旨を成就します—— I コリント 1:9. 2:9-10. 12:12-13. マタイ 16:18-19. 創 1:26. 2:9. 啓 2:7。
- B. 神の召しにふさわしく歩むようにと聖徒に懇願することにおいて、パウロはキリストの囚人として、また主の中の囚人としての身分から語りました——エペソ 3:1. 4:1：
1. 遅かれ早かれ、神のあらゆる執事、神の豊富を供給するあらゆる者、忠信なキリストを愛するあらゆる者はキリストによって、また彼の中に監禁されるでしょう。わたしたちがキリストを愛すれば愛するほど、ますます彼の中になり、彼がわたしたちにとって彼を極みまで享受するための牢獄となる程度になります。それはわたしたちが神の召しにふさわしい歩みを持つためです。
 2. わたしたちが自由を持てば持つほど、わたしたちはますます盲目になりますが、キリストがわたしたちの牢獄であるなら、わたしたちの目は開かれ、天的なビジョンを見て、最も高い神のエコノミーの啓示を受けるでしょう—— 3:9. 使徒 26:19。

II. 神の召しにふさわしく歩むことの第一の項目は、わたしたちが、神聖な属性によって、またそれをもって増強され造り変えられた人性の美德をもって、キリストのからだの実際であるその霊の一を熱心に保つことです——エペソ4:2-4：

- A. 結合する横木は四十八枚の幕屋の枠板を共に保ち、それらを一の中へともたらしめます。結合する横木は結合する霊、すなわち一つ霊を表徴し、一つ霊はすべてのキリストの肢体を一つからだの中へと結合します——出 26:26-29. エペソ 4:3：
1. 結合する横木が、アカシヤ材から作られていたのは、組み合わせる力のためであり、金で覆われていたのは、結合のためです。その横木がアカシヤ材から作られたことが示すのは、その霊の一がキリストの神性だけでなく、彼の人性も含んでいるということです—— 2 節。
 2. 実は、結合する横木は聖霊だけを表徴しているのではなく、聖霊とミングリングされたわたしたちの人の霊をも表徴しています (ローマ 8:16)。ミングリングされた霊は神性と人性の両方を含みます。
- B. 結合する、栄光を現されたイエスの霊の中に、イエスの造り変えられた人性があります。一つからだのために一つ霊を飲んで流し出すことは、人であるイエスの霊を

飲んで流し出すことであり、イエスの人性を飲んで流し出して、イエスの神聖で豊かにされた彼の人性の美德である謙虚さ、柔和さ、辛抱強さをもって、愛の中で互いを担い合うことです——ヨハネ 7:37-39 前半、I コリント 12:13、使徒 16:7、エペソ 4:2-3 :

1. 召会生活の中でキリストのからだの実際の中に生きるために、わたしたちは人性におけるキリストをわたしたちの謙虚さと柔和さとして経験する必要があります。謙虚になるとは低い身分にとどまることであり、柔和であるとは自分のために争わないことです——ピリピ 2:5-7、マタイ 11:29、5:40、マルコ 10:45、ヨハネ 13:12-17。
2. 召会生活の中でキリストのからだの実際の中に生きるために、わたしたちは人性におけるキリストをわたしたちの喜びを伴った辛抱強さとして経験する必要があります。辛抱強さとは、キリストのからだのために虐待を耐え忍ぶことです——コロサイ 1:11、24。
3. 召会生活の中でキリストのからだの実際の中を生きるために、わたしたちは人性におけるキリストを経験して、愛の中で互いに担い合う必要があります。時にはわたしたちは主イエスに対して大きな問題を引き起こしますが、彼は常にわたしたちを担います。召会生活の中で、わたしたちは厄介な人たちを見捨てるのではなく、わたしたちがキリストを命として享受したことの表現である愛の中で、彼らを担うべきです——エペソ 4:31-32、ローマ 2:3-4、I テサロニケ 5:12-18、参照、詩 73:21-26。
4. わたしたちは、主の御名を呼び、彼を食べるなら、人としてのイエスを享受するでしょう。そして彼の引き上げられた人性のすべての美德はイエスの霊の中でわたしたちのものとなり、キリストのからだの実際としての実際の霊の中にある回復された召会生活を実行します——I コリント 1:2、10:3-4、17、12:3 後半、13、16:13、エペソ 4:3-4 前半。

Ⅲ. 神の召しにふさわしく歩くことについての第二の項目は、わたしたちがすべての事、かしらであるキリストの中へと成長し込むことです——15節 :

A. すべての事でキリストの中へと成長し込んでキリストのからだを建造するために、わたしたちはキリストをすべてを含む、宇宙的な置き換えとして享受し、一人の新しい人を生み出す必要があります。ですから、わたしたちは「彼に聞き、「イエスだけ」を見なければなりません——15-16節、マルコ 9:7-8 :

1. 何であれ、あるいはだれであれキリストでないものを、神は「解雇」します。神は旧約エコノミーにおけるあらゆるものをキリストに置き換えました——マルコ 1:1-8、マタイ 17:3-5、コロサイ 2:16-17、ヘブル 10:5-10、11:5-6、参照、イザヤ 22:20-25。
2. 神がわたしたちを創造した時、彼はわたしたちを「解雇」しました。神は、十字架上でわたしたちを着て、キリストと共にわたしたちを十字架につけたとき、わたしたちを「解雇」しました。神がキリストと共にわたしたちを復活させた時、彼はわたしたちを神・人という新しい種族、すなわち、神の団体の傑作である神の新しい発明とすることによって、わたしたちを「再雇用」し、わたしたちを神

の栄光、すなわち、神の団体の表現のために創造したという神の当初の意図にわたしたちを戻しました——創 1:26. I コリント 11:7 前半. ガラテヤ 2:20. エペソ 2:6, 10, 15. イザヤ 43:7。

3. 真の召会生活は、すべての聖徒が解雇され、キリストに置き換えられ、キリストを一人の新しい人の実際である召会生活のすべてとし、三一の神の栄光を表現する生活です——コロサイ 3:10-11. I コリント 10:31。

B. 新約において、キリストがわたしたちを置き換えることは、接ぎ木の命の事柄です——ローマ 11:17, 24 :

1. わたしたちはキリストと結合されており、この結合の中でキリストはわたしたちを置き換えます。置き換えることは、結合を要求します。それに対して、交換はキリストとの結合を無効にします (ヨハネ 15:4-5)。キリストはご自身をわたしたちに結び付け、ご自身をわたしたちと結合したので、彼が十字架上で死なれた時、わたしたちは彼と共に死に、終結させられたのです (ローマ 6:6)。
2. 今やわたしたち彼の中にあるわたしたちの信仰を通してのわたしたちとキリストとの有機的な結合において、キリストはわたしたちの中に、わたしたちと共に、わたしたちによって、わたしたちを通して生きることによって、わたしたちを置き換えます。わたしたちは生きていますが、わたしたちではなく、キリストがわたしたちの中に生きておられます。またわたしたちは神の御子の信仰によって生きます。これはキリストとの有機的な結合を示します——ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21 前半。

IV. 神の召しにふさわしく歩くことについての第三の項目は、わたしたちがイエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことです——エペソ4:20-24 :

A. ヨハネ第 6 章 57 節が啓示しているのは、どのようにイエスにあるあの実際、すなわち、イエスの神・人の生活が、キリストのからだの実際、すなわち、イエスの神・人の生活の複製としての新しい人の団体の神・人の生活となることができるかということです。人として主イエスを遣わすことにおける神の目的は、主イエスが神聖な命によって神・人の生活をするのでした (17:4)。このような生活は、彼であるのと全く同じである、宇宙的に偉大な団体の人、すなわち、神聖な命によって神・人の生活をする人という結果となります。

B. ヨハネ第 6 章 57 節前半は、「生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように」と言います。これがイエスにあるあの実際、すなわち、イエスの神・人の生活です :

1. 主イエスは御父のゆえに生き、絶えず御父を最も豊富な恵みを予表する天の「バター」(アメリカ標準訳、ダービーの新訳、キング・ジェームズ訳)として享受し、また最も甘い愛を予表する天の「蜜」として享受して、彼が御父を生きることによって供給する要因とし、彼が御父に従って御父の完全なみこころを選ぶことを力づける要因としました——イザヤ 7:14-15. 出 3:8. ヨハネ 1:14-17. 5:19-20. 8:29. 16:32. 17:26. ルカ 2:12. ピリピ 2:8。
2. 主が御父に従順であることの力は、主が祈りの人であって御父を最も豊富な恵みまた最も甘い愛として享受したことであり、それは彼が御父に絶対的に服従し、

御父の完全なみこころを遂行するためでした——マタイ 11:25-30. 14:22-23. マルコ 1:35. 10:45. 14:36。

C. ヨハネ第 6 章 57 節後半は、「生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように、わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる」と言います：

1. わたしたちはキリストによって生きるのではありません、すなわち、キリストをわたしたちの道具とするのではありません。わたしたちは「キリストのゆえに」生き、キリストをわたしたちの生活に供給する要因とします。わたしたちの食物としてのキリストのゆえに生きるために、わたしたちは彼を食べなければなりません。それによって彼はわたしたちの中で生き、わたしたちを通して生きるために供給し、活力を与える要因となることができ、神の完全なみこころとしての彼のからだを建造します—— 63 節. エレミヤ 15:16. ローマ 8:2. 12:1-2。
2. わたしたちは霊の中でわたしたちの生ける模範としての主と接触し、彼を天のバター、すなわち、最も豊富な恵みとして、また天の蜜、すなわち、最も甘い愛として食べなければなりません。これはキリストを乳と蜜の流れる良き地として享受し、召会、キリストのからだを建造して、神の家また神の王国とならせることです——出 3:8. I ペテロ 2:2. 詩 119:103。

V. 神の召しにふさわしく歩くことについての第四の項目は、わたしたちが愛と光の中を生きることです——エペソ5:2, 8-9：

- A. わたしたちは、神聖な性質にあずかる者、享受する者となる必要があります (II ペテロ 1:4)。神聖な性質は神が何であるかです。すなわち、神は霊であり (ヨハネ 4:24)、神は愛であり (I ヨハネ 4:8, 16)、神は光です (1:5)。霊は神のパーソンの性質であり、愛は神の本質の性質であり、光は神の表現の性質です。
- B. わたしたちはみな主との個人の時間を十分に費やして、霊の中で彼とひそかに交わる必要があります。それによってわたしたちは、彼の愛する本質で満たされて、彼にわたしたちを通して他の人たちを牧養していただき、彼の輝く要素をもって満たされて、他の人たちにわたしたちの中に彼を見せることができます——ヨハネ 4:24. ルカ 15:20. マタイ 5:15-16。

VI. 神の召しにふさわしく歩くことについての第五の項目は、わたしたちが霊の中で満たされて、キリストを流し出すことによって生きることです——エペソ5:18：

- A. 語ること、歌うこと、朗詠すること、感謝をささげること、キリストを畏れつつ互いに服従し合うことは、霊の中で満たされることの流れ出であるだけでなく、霊の中で満たされる道でもあります—— 19-21 節。
- B. 霊の中で満たされることは、キリストの豊富で満たされてキリストの豊満、キリストの流れ出となることです—— 3:8. 1:23. 3:19 後半. ローマ 10:12-13. エペソ 6:17-18. ヨハネ 1:16。